

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	エルメラ県内の小学校において保健教育が定着し、児童が感染症予防のための知識を習得する環境が整備される。
(2) 事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校保健県レベルミーティングの定期開催 2. 県レベルトレーナー対象ワークショップ開催 3. 学校保健国レベルワークショップの開催 4. 校長対象ワークショップの実施
(3) 達成された効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第2回学校保健県レベルミーティング：2011年10月6日 エルメラ県学校保健の現状、学校保健を担う県レベルトレーナーの役割と今現在活動に支障をきたしている問題点の共有を図り、よりよい学校保健活動を展開していくために各セクターの学校関係者が自分たちの役割を自覚し、自分たちの活動計画を立てた。 2. 県レベルトレーナー対象ワークショップ： 2011年10月3日：①学校保健問題分析ワークショップ 2011年10月7日：②モニタリング方法検討ワークショップ 2011年11月5日、10日：③Child to Childアプローチ/コミュニティヘルスワークショップ 県レベルトレーナーのスキルアップを目的に、地域保健専門家の工藤氏、Child to Childアプローチ/コミュニティヘルス専門家のデビッド・ワーナー氏を招き、学校保健促進に必要なスキルを学び、また活動促進のための連携の必要性を国及び県へ投げ掛けるための根拠を見出すことができた。 3. 学校保健国レベルワークショップ：2011年12月20日、21日 保健省及び教育省主催という形で、全13県の県保健局ヘルスプロモーション課DPHOと県教育局学校保健担当者及び学校を対象とした保健分野の活動をしている諸団体を招き、国の学校保健プログラムの共有、各団体の実施している活動共有と評価及び2012年度活動計画作成を行った。保健セクター全5件、教育セクター全8件が参加した。 4. 校長対象ワークショップ：2012年1月～2月 2011年度の国及びエルメラ県における学校保健の現状把握と情報共有、昨年のワークショップにおいて校長自身が作成した学校保健活動計画の実施評価及び今年度の活動計画作成を目的に実施した。全79名(73.8%)の校長が参加した。
(4) 今後の見通し	学校年間スケジュールが不安定であり、さらに今年3月に控えた大統領選挙に向けた活動のために、再度学校の開校期間が短縮するなどし、本来ならば昨年3年次事業開始後に、①校長対象ワークショップ、②保健担当教師トレーニングを実施予定であったが、上記理由により学校及び学校関係者を対象とした活動が遅れている。①及び②に関しては、今年1月以降速やかに開催を始め、対応している。